

# CASBEE® 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新御前ビル(仮称)新築工事	階数	地上4F
建設地	京都府京都市	構造	S造
用途地域	0	平均居住人員	700 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	3,600 時間/年
建物用途	事務所、物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年12月 0.0	評価の実施日	2013年11月17日
敷地面積	5,300 m <sup>2</sup>	作成者	NTTファシリティーズ
建築面積	2,692 m <sup>2</sup>	確認日	2013年11月22日
延床面積	9,967 m <sup>2</sup>	確認者	筑 雄平



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 3.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆

■建設 ■修繕・更新・解体 □運用 □オンサイト □オフサイト

①参照値 100%  
②建築物の取組み 56%  
③上記+②以外の 56%  
④上記+ 56%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 4.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.4

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.9

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 4.0

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	自然エネルギーの活用におけるランニングコスト低減と、熱負荷を最大限に抑制する機能的な外壁構成を行うことで、機械に頼らない環境共生スマートビルを計画した。	<b>その他</b> 建物を南側に配置することで、近隣住居への圧迫感を低減し、日影の影響を最小限に計画している。
<b>Q1 室内環境</b>	庇及び、垂直ルーバーにより、視線制御及び、グレア防止を計画している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 中庭を設け、中間領域を形成することで室内にも外部を感じられるよう採光と通風を確保している。
<b>LR1 エネルギー</b>	トップライトを利用した自然換気システムを計画している。また、太陽光パネルによる自然エネルギー利用を計画している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 自転車置場及び駐車場を十分に確保している。
<b>Q2 サービス性能</b>	広大なワンルームオフィスを確保可能な構成としている。また、執務空間の天井高さを2.7m確保している。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	京都市産木材の内装材利用、また、井水利用を計画している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される